

第3部

実践編

初動対応とタイムラインの検討

災害発生時の初動対応と災害時に取るべき防災行動を時系列に整理した防災行動計画「タイムライン」を検討します。

1 初動対応とタイムラインの検討



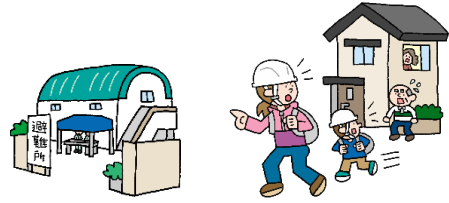
(1) 初動対応について

災害発生の際の危険性が高まったとき、「避難すべきかどうか」や「具体的な避難方法」について、短い時間で判断するのは困難です。

迅速で円滑な避難行動ができるよう、自治会や町内会等の地域コミュニティにおいて、あらかじめ初動対応のルールを決めておきましょう。

区分	視点	検討項目	内容
役員会の開催 基準	いつ	開催時期	気象情報等をもとに、どのタイミングで役員会を開催するかを決めておきましょう。
	誰が	出席者	事前に出席メンバーを決めておきましょう。
	どこで	開催場所	自治会の集会所や会長宅など、いざというときに集まりやすい場所を検討し、第1・2候補を決めておきましょう。
	何を	協議・判断事項	<input type="checkbox"/> 避難の呼びかけ時期 <input type="checkbox"/> 避難方法の周知と安否確認の方法 <input type="checkbox"/> 避難行動要支援者の避難支援の確認 <input type="checkbox"/> 避難所の運営従事者の確認 等
	どのように	伝達方法	会長が不在の場合に備え、組織規約等で代理を決めておきましょう。携帯電話への連絡のほか、スマートフォンを持っている場合、メッセージングアプリによる連絡も有効です。
避難の呼びかけ	どのように	伝達方法	[伝達方法] 電話連絡、メール、メッセージングアプリ、FAX、自宅訪問等 [連絡体制] 活動体制や各班の役割を検討する中で決定 ※連絡が取れない場合の対応方法も要検討
	どこに	避難場所	在宅、知人宅、緊急避難場所、避難所 ※避難する時期やタイミングも考慮

(2) タイムラインについて



①タイムラインの検討

災害発生の危険性が高まったとき、「どのような備えや行動をすべきか」「どのタイミングで行動をすべきか」を気象情報や避難情報、河川水位情報等をもとに、時間の流れに沿って考えてみましょう。

このように災害時に取るべき防災行動を時系列に整理した防災行動計画を「タイムライン」と言います。

マイ・タイムライン

- ・“自助”の観点から考える**自身の**防災行動計画

コミュニティ・タイムライン

- ・“共助”の観点から考える**地区の**防災行動計画

< 台風発生・上陸／コミュニティ・タイムラインの検討内容例 >

3～5日前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台風接近、台風の進路予測や気象情報を確認 ・ 影響のある河川流域の雨量を確認 ・ 備蓄品の確認や非常持出品の準備
2日前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会役員の所在確認 ・ 役員会議の開催、地区災害対策本部や避難所の運営準備
高齢者等避難 発令	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者や障害のある方など、避難に時間のかかる方は避難開始 ・ 自宅外避難のための連絡調整、避難開始
避難指示 発令	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危険な場所にいる方はその場から全員避難 ・ 安否確認及び避難誘導、地区災害対策本部へ連絡

②タイムラインの作成

タイムラインを作成し、災害時に取るべき防災行動を事前に理解しておくこと、いざというときに、落ち着いて行動をとることが可能になります。

防災行動を検討する際は、地区特性（自然・災害・社会）と合わせ、「平時」「災害警戒時」「応急対策時」「復旧・復興時」におけるそれぞれの行動について考えてみましょう。可能であれば、「時間帯」「平日・休日」「季節」「経過時間」の視点で必要となる行動についても考えてみましょう。

地区特性

自然特性

- ・沿岸部
- ・山沿い
- ・内陸部
- ・山間部
- ・河川沿い など

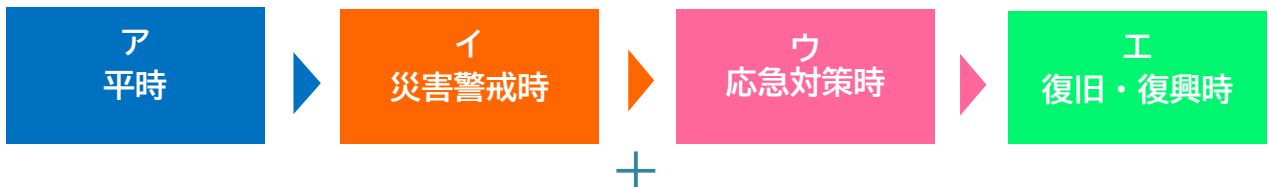
災害特性

- ・大雨や台風（土砂災害、河川洪水、内水氾濫）
- ・地震（津波、液状化等）

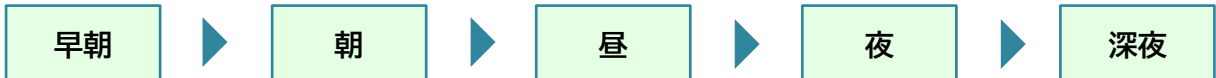
社会特性

- ・人口（世帯数）・年齢構成
- ・要配慮者の状況
- ・地域コミュニティの状況

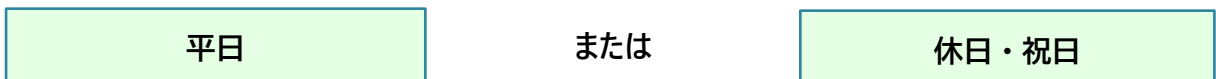
タイムライン



○時間帯



○平日・休日



○季節



○経過時間





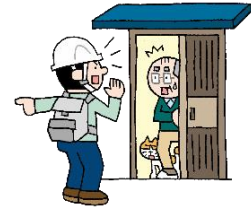
③各フェーズでの検討ポイント

ア 平時

災害時に起こりうる課題を想定して、日頃からどのような備えや取組をしておくべきか検討しましょう。

活動項目

- 地域で暮らしている要配慮者の確認
- 要配慮者のうち、自力で避難することが困難な高齢者や障害のある方等の避難行動要支援者の把握
 - 避難支援が必要な高齢者や障害のある方等を確認しましょう。
 - 民生委員等と協力して日頃から見守りや声かけを行い、要支援者の状況を把握しましょう。
- 備蓄品の準備や防災倉庫の整備・管理
 - 防災訓練を通して定期的に点検し、必要に応じて補充や更新、整備をしましょう。
- 災害時の協力要請
 - 市町村職員や学識経験者等の専門家のほか、防災士、消防団、各種地域団体、福祉施設、ボランティア等との連携・協力は大変重要です。
 - 地域の一員として、事業所も災害時に防災活動に協力していただけるよう、平時から話し合いに参画してもらいましょう。
- 危険箇所の点検
 - 地域内で倒壊が懸念される建物やブロック塀、道路冠水等が予想される箇所など、危険箇所や避難時に支障になるものを点検しておきましょう。
- 連絡体制の整備
 - 迅速で円滑な避難行動ができるよう、「いつ」「誰が」「誰に」「どこで」「何を」「どのように」という視点で、連絡方法や連絡順などを決めておきましょう。
- 指定避難所や避難経路の確認
 - 防災マップで指定緊急避難場所や指定避難所、避難経路等を確認するとともに、実際に歩いて道路状況や所要時間等を確認しておきましょう。
 - 避難先が災害時に設備の故障で利用できないと慌てます。自分達が避難する場所がどのような環境か、設備の状況とあわせて確認しておきましょう。
- 避難訓練の実施
 - 避難訓練を実施し、現在の組織体制や防災活動が問題がないかを確認しましょう。



イ 災害警戒時

最新の気象情報や避難情報等を収集・共有・伝達し、速やかに行動できるようシミュレーションしておくことが大切です。

活動項目

●情報収集、共有、伝達

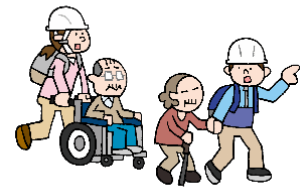
- 災害が発生し、または発生するおそれのある場合、市町村から避難情報が発令されます。事前に決めておいた連絡網で速やかに関係者に伝達し、情報共有をしましょう。
- 避難行動要支援者に対しては、個別避難計画に基づき、速やかに避難情報等を伝達しましょう。

●状況把握

- 自主防災組織等を中心に、事前に決めておいた連絡体制で声かけや安否確認を行いましょう。
- 避難行動要支援者に対しては、日頃から見守りや声かけを行うとともに、避難訓練を実施し、素早く避難支援できる体制を整備しておきましょう。

●避難判断や避難行動

- 平時に家族や地区で決めておいた避難経路や避難方法を確認して、避難の準備をしたり、危険と感じたら避難をはじめてください。



ウ 応急対策時

行政の支援や救助が届かない、または間に合わない状況では、共助による助け合いや自助が重要となります。

活動項目

●身の安全の確保、救助

- 発災時は、共助による助け合いが重要となりますが、まずは、自分自身や家族の身の安全を確保しましょう。
- 災害の被害状況によっては、電話が不通となることも想定されます。確実に安否確認できる方法を決めて、関係者で共有しておきましょう。
- 人手が足りないときは、周囲に協力を求めるなどの対応を取りましょう。また、倒壊した建物や倒壊のおそれがある家屋に取り残された人の救助など、地区で対応が困難な場合は、二次被害を避けるためにも無理はせず、公的機関に救助要請を行きましょう。

●率先避難、避難誘導、避難支援

- 個別避難計画に基づき、避難行動要支援者の避難支援を行きましょう。
- 避難所へ行くだけが避難ではありません。ハザードマップで自宅周辺の災害リスク等を確認し、状況に応じて、在宅避難、親戚や知人宅への避難も検討しましょう。

●避難所の運営

- 避難者はお客様ではありません。生活の場として避難者同士で連携・協力して避難所を運営しましょう。

●情報収集、情報提供

- 避難者名簿を使って避難者の状況を把握しましょう。また、在宅避難や車中泊等の避難所外避難をしている方についても、必要な支援や物資等の要望を確認するとともに支援情報を提供しましょう。

■自治会等のコミュニティ・タイムラインの例

時間	気象情報	市町村情報	地区の対応 (情報収集等)	家庭の対応 (例)
3～ 5日前	台風情報 (進路・勢力等)	注意の呼びかけ	今後の台風の進路情報 の確認 役員会開催の決定 避難準備の呼びかけ (備蓄品や非常持出品 の確保、連絡手段 等)	今後の台風の進路情報 の確認 常備薬の確保 家の周囲の安全確保 備蓄品や非常持出品 の確保
2日前	台風情報 (進路・勢力等) 大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報 高潮注意報	自主避難など 注意の呼びかけ 避難所の開設 準備 土のう準備	役員会の開催 避難喚起(早めの避難 や親戚・知人宅への 避難等)	携帯電話の予備電源 の確保と充電 避難方法や移動手段 等の決定
1日前	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報	高齢者等避難	●●●等による高齢 者等避難の受信 避難の呼びかけ 高齢者等の避難支援 避難所の運営に協力	●●●等による高齢 者等避難の受信 高齢者等は避難 その他の人は避難準備
半日前	土砂災害警戒情報 高潮警報	避難指示	●●●等による避難 指示の受信 避難の呼びかけ 安否確認 避難誘導	●●●等による避難 指示の受信 全員避難 避難完了
5時間前	氾濫危険情報		安否確認 避難誘導	全員避難
3時間前			安否確認 避難誘導	全員避難
0時間前	大雨特別警報 氾濫発生情報	緊急安全確保		直ちに安全確保(垂直 避難等)